英文法 L01 第 29 講 to 不定詞の形容詞用法

学習目標

名詞の後ろに置かれた to 不定詞が、どの名詞をどのように説明しているかを判断できる。

名詞と動詞の関係を考え、on や with などの前置詞が必要になる場合を見分けることができる。

1. to 不定詞の形容詞用法とは

to 不定詞の形容詞用法

to 不定詞の形容詞用法とは、to + 動詞の原形 を含むまとまりが、名詞を後ろから説明する働きのことである。

基本の形は **名詞 + to + 動詞の原形** となる。このように名詞の後ろから説明を加えることを、後置修飾という。

次の英文を見てみよう。

Pair 1

I have a book to read.

私には読む本がある。

この文では、to read が直前の名詞 a book を説明している。

a book だけなら「1 冊の本」という意味だが、to read が続くことで「読む本」という意味になる。

つまり、to read は「どのような本なのか」を説明している。

形容詞用法の基本

名詞 + to 不定詞 の形を見つけたら、まず to 不定詞が直前の名詞を説明しているか考える。

a book to read なら、to read が a book を説明する。名詞と to 不定詞を一つのまとまりとして捉えることが大切だ。

2. 名詞と動作の関係を考える

形容詞用法では、名詞が to 不定詞の動作とどのような関係にあるかを考える。

たとえば、a book to read は、もとの動作である read a book と対応している。

read a book では、本は「読む」という動作の対象である。この関係を保ったまま、名詞を先に置いて a book to read と表すことができる。

ただし、動詞によっては、名詞との関係を表すために前置詞が必要になる。

©ミライコーチング

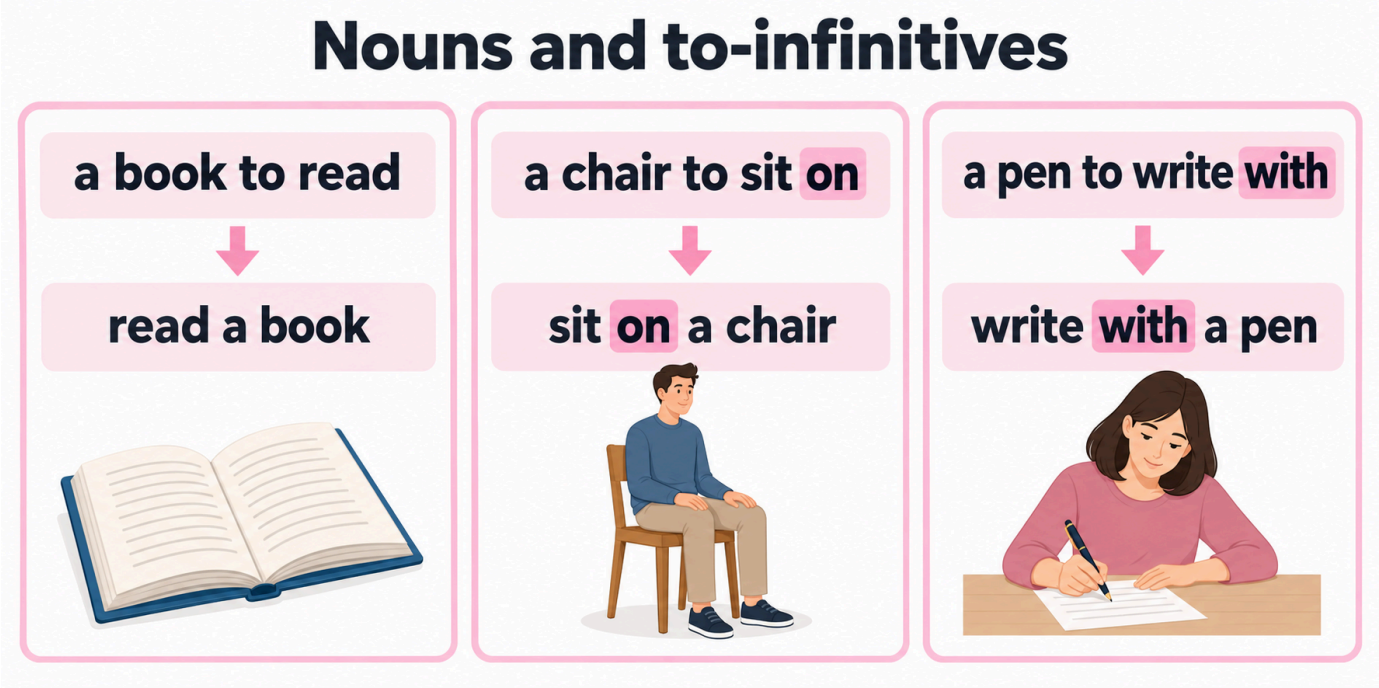


図 1　名詞と動作・前置詞の関係

図題の Nouns and to-infinitives は「名詞と to 不定詞」を意味する。図の 3 組の表現を確認しよう。

名詞を後ろから説明する形	もとの動作との関係
a book to read（読む本）	read a book（本を読む）
a chair to sit on（座る椅子）	sit on a chair（椅子に座る）
a pen to write with（書くためのペン）	write with a pen（ペンを使って書く）

① 動詞の目的語になる名詞

read a book では、read の直後に a book が置かれている。

ここでの a book は、「読む」という動作の対象を表す目的語である。

この関係を形容詞用法で表すと、a book to read となる。

read は、この用法では目的語を直接取れるため、間に前置詞を加える必要はない。

② 前置詞を通して動作と結び付く名詞

一方、sit on a chair では、sit と a chair が前置詞 on を通して結び付いている。

この関係を形容詞用法で表す場合も、on を残して a chair to sit on とする。

同じように、write with a pen では、ペンは書くための道具であり、with がその関係を表している。

そのため、a pen to write with となる。

Pair 1

She needs a chair to sit on.

彼女には座るための椅子が必要だ。

Pair 2

I have a pen to write with.

私には書くときに使うペンがある。
どちらも、to 不定詞が直前の名詞を説明している。

ただし、名詞と動作の結び付き方は異なる。椅子は「その上に座る場所」、ペンは「書くために使う道具」である。

前置詞が必要かを判断する方法

動詞と名詞の関係を、普通の語順に戻して考える。

read a book のように動詞が名詞を直接目的語に取る場合は、基本的に前置詞を加えない。

sit on a chair や write with a pen のように前置詞を通して名詞と結び付く場合は、形容詞用法でもその前置詞を残す。

意味と前置詞についての注意

形容詞用法をすべて「〜するための」と訳す必要はない。a book to read は、自然な日本語では「読む本」と訳せる。

また、to 不定詞の後ろに必ず前置詞が必要なわけでもない。前置詞の有無や種類は、動詞と名詞の関係によって決まる。

別の前置詞を使った表現が文法的に成立する場合でも、表す位置や関係が変わることがある。設問では、指定された意味に合うかを確認しよう。

©ミライコーチング

3. 例題

1

次の英文の空所に入る最も適切なものを、A〜D から 1 つ選べ。

We have a story (　　) today.

A. to reading

B. to read

C. to reads

D. for read

解答・解説

正解：B

まず、空所の前にある名詞 a story に注目する。

この文では、その物語がどのようなものかを説明するために、形容詞用法の to 不定詞を使う。

形は to + 動詞の原形 なので、to read が適切である。

Pair 1

We have a story to read today.

私たちには今日読む物語がある。

A. to reading は、形容詞用法の不定詞で必要な動詞の原形になっていない。ここでは to read とする。

B. to read は正しい。名詞 a story を後ろから説明している。

C. to reads は、to の後ろに三人称単数現在形の reads を置いているため誤り。必要なのは原形の read である。

D. for read は、この位置で名詞を説明する to 不定詞の形になっていない。for の後ろにそのまま原形の read を置くことはできない。

2

次の英文の空所に入る最も適切なものを、A〜D から 1 つ選べ。ただし、椅子の座面に座る関係を表すものとする。

He needs a chair (　　) in his room.

A. to sit beside

B. to sit under

C. to sit on

D. to sit behind

解答・解説

正解：C

空所の前の名詞は a chair である。

椅子の座面に座る関係は、sit on a chair で表せる。

この関係を保ったまま a chair を先に置くと、a chair to sit on となる。

Pair 1

He needs a chair to sit on in his room.

彼には自分の部屋で座るための椅子が必要だ。

A. to sit beside は「そのそばに座る」という関係を表す。文法的には成立するが、椅子の座面に座るという設問条件には合わない。

B. to sit under は「その下に座る」という関係を表す。これも指定された位置関係とは異なる。

C. to sit on は正しい。sit on a chair の関係を保ち、a chair を後ろから説明している。

D. to sit behind は「その後ろに座る」という関係を表す。文法的には可能だが、椅子の座面に座るという意味にはならない。

この問題では、前置詞が違うからといって、ほかの選択肢がすべて文法的に誤っているわけではない。指定された意味と一致するかが判断の決め手である。

©ミライコーチング

4. 演習問題

形を判断する問題

1

次の英文の空所に入る最も適切なものを、A〜D から 1 つ選べ。

We have three letters (　　) after lunch.

A. to write

B. to writing

C. to writes

D. for write

2

次の英文の空所に入る最も適切なものを、A〜D から 1 つ選べ。

We need benches (　　) in the garden.

A. to sitting on

B. to sits on

C. to sat on

D. to sit on

3

次の英文の空所に入る最も適切なものを、A〜D から 1 つ選べ。

Nina has some homework (　　) before dinner.

A. to finishing

B. to finish

C. to finishes

D. for finish

©ミライコーチング

4

次の英文の空所に入る最も適切なものを、A〜D から 1 つ選べ。ただし、ペンを道具として使って書く関係を表すものとする。

I need a pen (　　) in class.

A. to writes with

B. to writing with

C. to write with

D. to write on

意味と関係を判断する問題

5

次の英文の意味として最も適切なものを、A〜D から 1 つ選べ。

The teacher gave us books to read.

A. 先生は私たちの本を読んだ。

B. 先生は私たちに本の読み方を教えた。

C. 先生は私たちから本を受け取った。

D. 先生は私たちに読む本を渡した。

6

次の英文の意味として最も適切なものを、A〜D から 1 つ選べ。

Ella has a chair to sit on.

A. エラには座るための椅子がある。

B. エラは今、その椅子に座っている。

C. エラには、その下に座る椅子がある。

D. エラには、誰かがすでに座った椅子がある。

7

次の英文の意味として最も適切なものを、A〜D から 1 つ選べ。

The children found a box to put toys in.

A. 子どもたちは、おもちゃがすでに入った箱を見つけた。

B. 子どもたちは、箱の中にあるおもちゃを見つけた。

C. 子どもたちは、おもちゃを入れる箱を見つけた。

D. 子どもたちは、箱をおもちゃの中に入れた。

©ミライコーチング

8

次の英文の意味として最も適切なものを、A〜D から 1 つ選べ。

My uncle needs a cup to drink from.

A. 私のおじはカップの中身を飲み終えた。

B. 私のおじには飲むときに使うカップが必要だ。

C. 私のおじはカップ自体を飲む必要がある。

D. 私のおじには、誰かに飲ませるためのカップがもうある。

5. 演習問題の解答・解説

1

正解：A

空所の前にある three letters を、後ろの to 不定詞で説明する。

手紙は「書く」という動作の対象なので、write letters の関係を使い、letters to write とする。

Pair 1

We have three letters to write after lunch.

私たちには昼食後に書く手紙が 3 通ある。

A. to write は正しい。to + 動詞の原形 の形で、three letters を説明している。

B. to writing は誤り。この形容詞用法では to の後ろに動詞の原形を置く。

C. to writes は誤り。writes ではなく原形の write が必要である。

D. for write は誤り。前置詞 for の直後に動詞の原形を置いても、この位置で必要な形容詞用法の不定詞にはならない。

2

正解：D

benches を to sit on が後ろから説明し、「座るためのベンチ」という意味になる。

もとの関係は sit on benches である。sit と benches を結ぶ on を残す必要がある。

Pair 1

We need benches to sit on in the garden.

私たちには庭で座るためのベンチが複数必要だ。

A. to sitting on は誤り。to の後ろが動詞の原形ではなく sitting になっている。

B. to sits on は誤り。三人称単数現在形の sits ではなく、原形の sit が必要である。

C. to sat on は誤り。sat は過去形・過去分詞形であり、この位置では原形の sit を用いる。

D. to sit on は正しい。sit on benches の関係を保ち、benches を後ろから説明している。

©ミライコーチング

3

正解：B

homework を後ろから説明する to 不定詞が必要である。

finish homework は「宿題を終える」という関係を表すので、homework to finish とする。

Pair 1

Nina has some homework to finish before dinner.

ニナには夕食前に終える宿題がある。

A. to finishing は誤り。ここでは finishing ではなく原形の finish が必要である。

B. to finish は正しい。homework が「終える」という動作の対象になっている。

C. to finishes は誤り。to の後ろに三人称単数現在形の finishes は置けない。

D. for finish は誤り。for + 動詞の原形 では、必要な to 不定詞の形にならない。

4

正解：C

ペンは「書く」という動作に使う道具である。

write with a pen という関係を保つため、with を使う。

Pair 1

I need a pen to write with in class.

私には授業中に書くときに使うペンが必要だ。

A. to writes with は誤り。writes ではなく原形の write にする必要がある。

B. to writing with は誤り。この形容詞用法では to の後ろに原形を置く。

C. to write with は正しい。with がペンを道具として使う関係を表している。

D. to write on は、on の後ろに来るものを文字を書き付ける面として扱う関係を表す。a pen をそのような面として説明する読み方は、ペンを道具として使うという設問条件に合わない。

5

正解：D

books to read が一つのまとまりである。

to read は books を後ろから説明し、本が「読む」という動作の対象であることを示している。

Pair 1

The teacher gave us books to read.

先生は私たちに読む本を渡した。

A. 誤り。英文の中心動詞は gave であり、先生が本を読んだとは述べていない。

B. 誤り。gave us books は「私たちに本を渡した」という意味であり、読み方を教えたという意味ではない。

C. 誤り。英文では先生が私たちに本を渡している。本を受け取る側と渡す側が逆になっている。

D. 正しい。books to read を「読む本」と捉え、gave us とつなげて意味を取れている。

6

正解：A

a chair to sit on は、sit on a chair の関係からできている。

to sit on が a chair を後ろから説明し、座る場所としての椅子を表す。

Pair 1

Ella has a chair to sit on.

エラには座るための椅子がある。

A. 正しい。a chair to sit on は、座るための椅子を表している。

B. 誤り。英文は座るための椅子があることを述べており、エラが今座っているとは述べていない。

C. 誤り。on は、この文では椅子の座面に座る関係を表す。「椅子の下に座る」ではない。

D. 誤り。to sit on は、その椅子に誰かがすでに座ったことを表していない。

7

正解：C

名詞 a box を、to put toys in が後ろから説明している。

もとの関係は put toys in a box である。

in は、おもちゃを箱の中へ入れる関係を表している。

Pair 1

The children found a box to put toys in.

子どもたちはおもちゃを入れる箱を見つけた。

A. 誤り。a box to put toys in はおもちゃを入れる箱を表しているが、おもちゃがすでに入っているとは述べていない。

B. 誤り。found の目的語は a box であり、子どもたちが見つけたのは箱である。おもちゃを見つけたという意味ではない。

C. 正しい。put toys in a box の関係を保ち、a box to put toys in を適切に訳している。

D. 誤り。put toys in a box では、箱の中に入れるものは toys である。箱をおもちゃの中に入れる関係ではない。また、箱を入れる動作をすでに行ったとも述べていない。

8

正解：B

a cup to drink from が一つのまとまりになっている。

もとの関係は drink from a cup である。

from は、この表現ではカップを飲み物を飲む際の容器として使う関係を表す。

Pair 1

My uncle needs a cup to drink from.

私のおじには飲むときに使うカップが必要だ。
A. 誤り。needs は「必要としている」という意味であり、飲み終えたことは表していない。

B. 正しい。a cup to drink from を、飲むときに使うカップと捉えている。

C. 誤り。drink from a cup はカップを使って飲むという意味であり、カップそのものを飲む意味ではない。

D. 誤り。needs はカップを必要としていることを表す。また、この英文には誰かに飲ませるという意味も、すでにカップを持っているという意味も含まれていない。